

# 学習集団形成のプロセスと支援

聖徳大学生涯教育文化学科

西村美東士 <http://mito3.in.coocan.jp>

## 学習目標

- ① 個人学習と集団学習の効果的な推進方法
- ② 望ましい学習集団形成のあり方



個人を生かして社会形成に貢献する学習集団運営及び集団学習の方法について、効果的な助言や企画ができる支援者になる。

# 問題の所在

学習は本来、個人的事象



生涯学習の重要な特徴は「地域での  
人々の学びあいと支えあい」



個人を生かし、育てる活動が不十分

# 個人学習と集団学習

個人学習

- ①ハイブローというマーケット
- ②職業能力開発
- ③境界領域

Haveからbeへ、beからwithへ

集団学習

集会学習とは異なる  
集合学習として

# ピア（同輩集団）という 個人化阻害要因

ピアの魔力

「島宇宙」化

「みんなぼっち」という疎外感

ピアの排除法

# 1.5次集団という理解

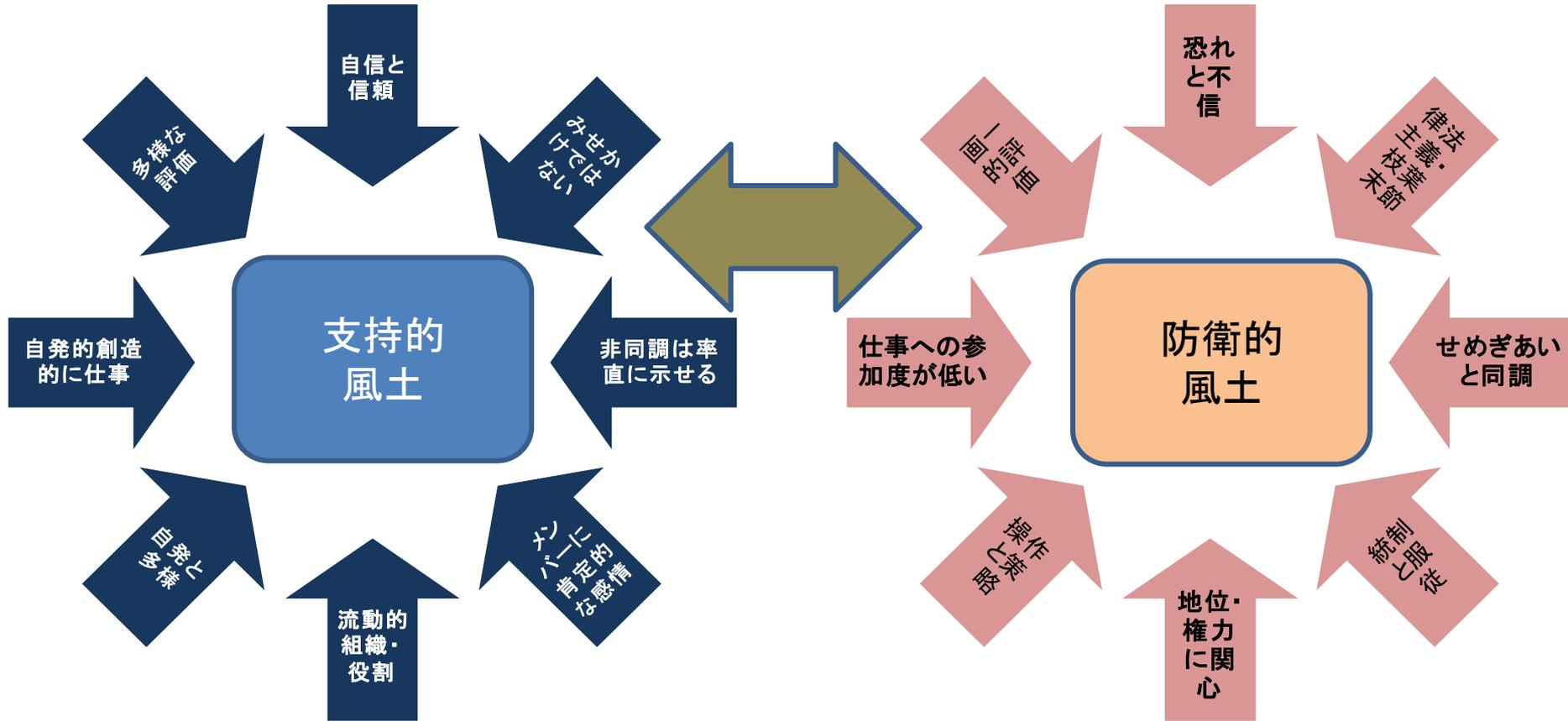
1次集団：家族・親類・近隣集団

2次集団：企業・自発的結社

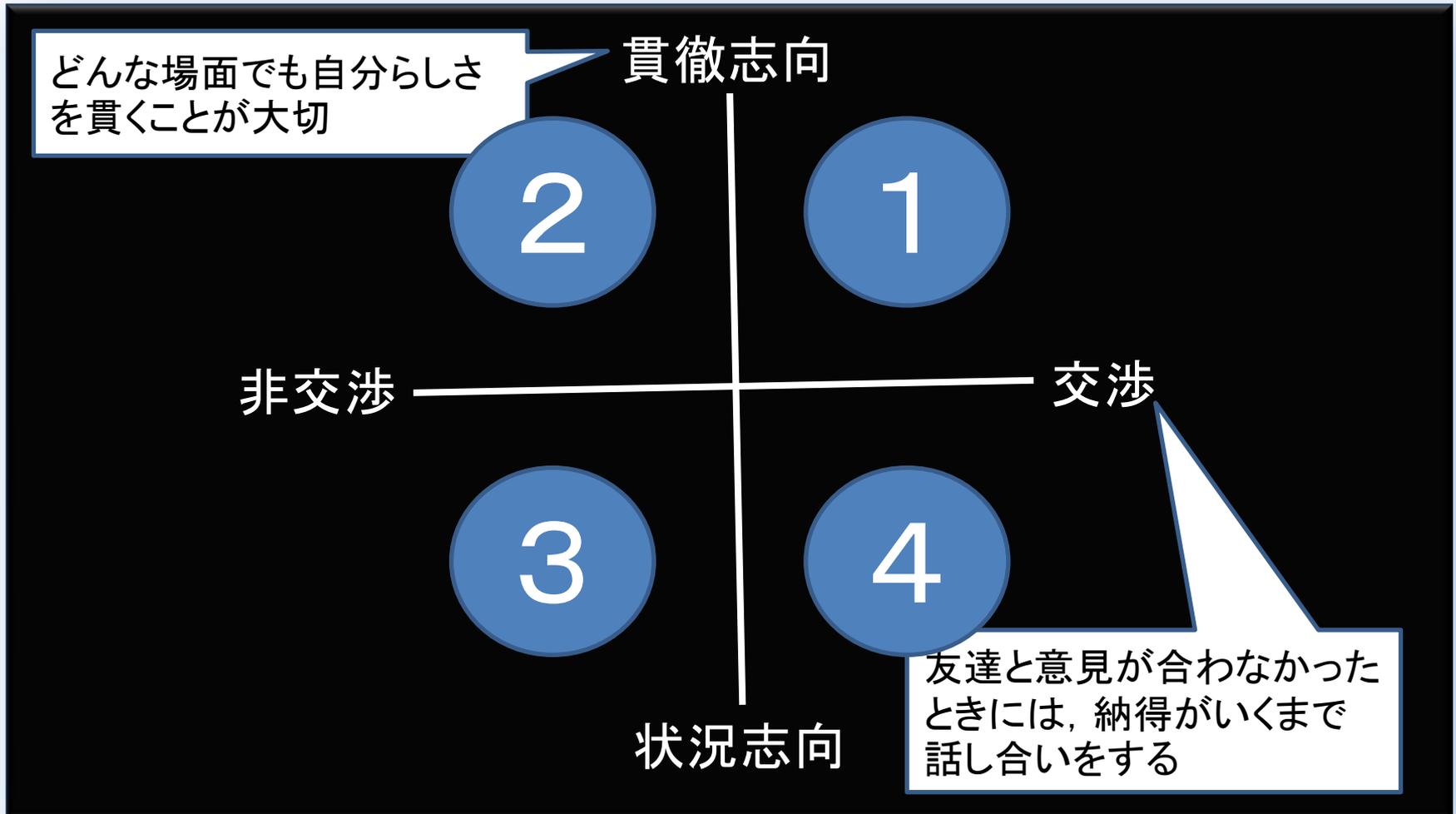
1.5次集団：選択的、親密志向  
だが距離もある。

高橋勇悦「1.5次関係、多重人格、ネットワークー都市的人間関係論覚書」、『都市の社会的世界』,UTP制作センター,1998年

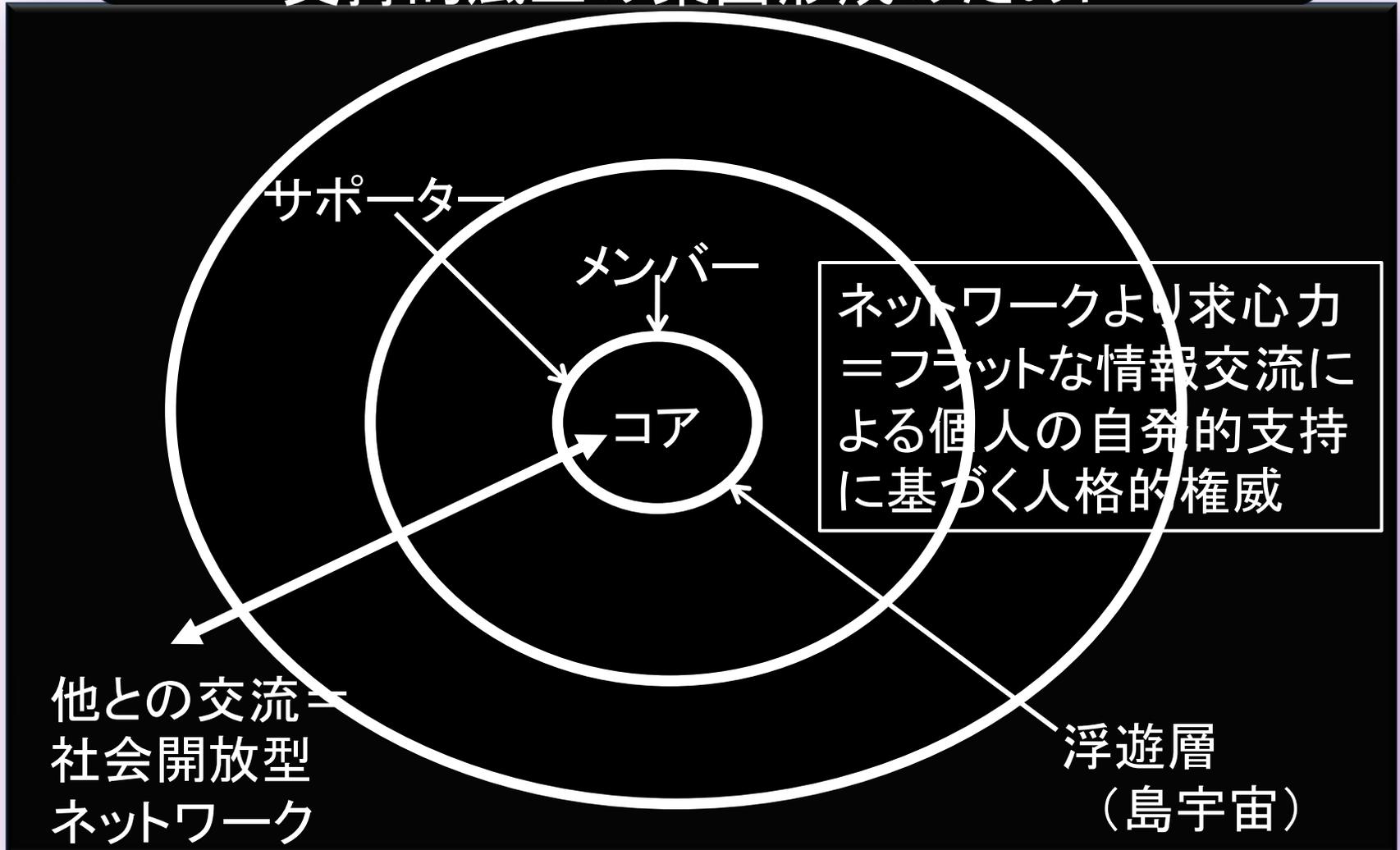
# 支持的風土 vs 防衛的風土



# 若者の友人関係の類型



ネットワークから同心円集団へ  
— 支持的風土の集団形成のために —



# 「楽習と参画のまち佐野」都市宣言の意味

## 「楽習と参画のまち佐野」都市宣言

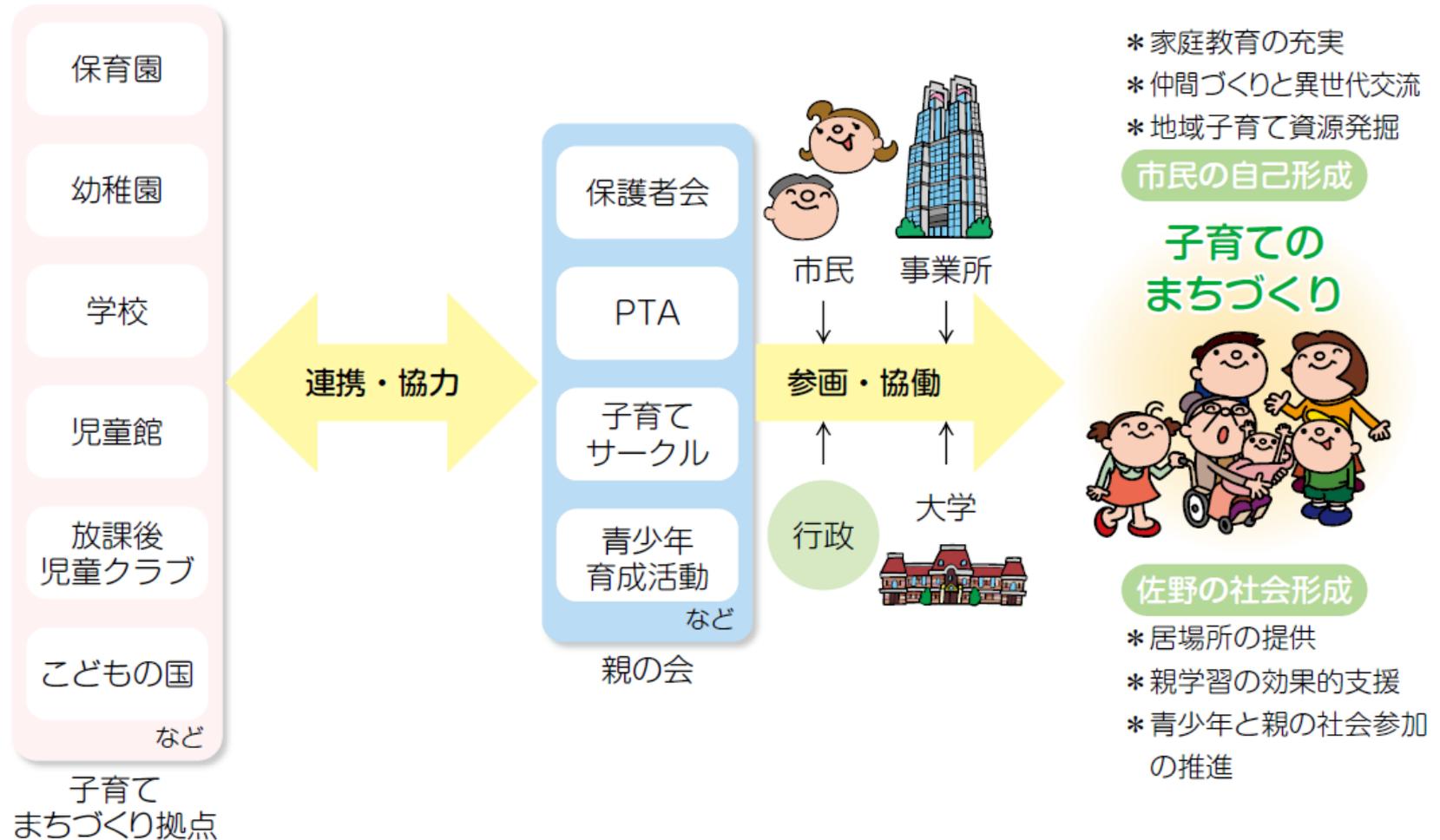
私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。

私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め、安全で安心なまちをつくります。子育てのなかで親が育ち、こどもが愛されて育つまちをつくります。

私たちは佐野のもつすばらしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。

ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。

# 「佐野市子育てまちづくり支援事業」概念図



## 個人を生かす集団学習の方法

実感に  
気づく

### ロールプレイ

- 個人の実感からの出発 例:アサーション
- 相手の心の痛みに気づく

目標の  
設定

### クドバス

- 個人の参画の効率化
- 個人の能力獲得目標の設定

独学の  
支援

### 動画教材作成

- 個人学習支援のための集団学習
- ワークショップの成果としてのプロダクツ

# 結論

生涯学習は「個人の充実」とともに「人々の地域での学びあい、支えあい」を特徴とする。

だが、これまでの集団活動においては、集団内の相互作用が、かえって疎外感などのマイナスの影響を個人に与えることが少なからずあった。

今後の生涯学習推進において、社会教育主事は、広く市民活動一般に対して、集団の成員一人一人が尊重され、生かされ、個人学習がより促進されるよう、教育的・専門的視点から効果的な助言・指導と推進体制整備に努める必要がある。